

第22期 2013年4月1日▶
2014年3月31日
株主通信

成長を、力強く



1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012

シップヘルスケアホールディングス株式会社
生命を守る人の環境づくり

証券コード：3360



代表取締役会長

古川 國久



代表取締役社長

小川 宏隆

[グループ理念]

SHIP

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

[基本姿勢]

し せい そく だつ

至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

[2014年Key Word]

より良い会社にしよう！

『進化』と『成長』はとまらない

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、創業来の目標であった売上高2,000億円の達成(2013年3月期:売上高2,243億円)を契機に、売上高1兆円の企業集団を目指す新たなスタートを開始いたしました。この目標の達成には、従来から積み重ねてまいりましたノウハウと実績に加え、新たな“旬”に挑戦していくことが重要と考えております。当社グループでは、この挑戦をより確かに実行していくために社長の交代をはじめ経営体制を刷新し若返りを図っております。

現在当社グループを取り巻く環境は、増加を続ける社会保障費抑制の議論や消費税増税への対応などで経営環境に不透明感が漂う医療機関の現状を受け、価格下げ圧力、それに伴う競争激化など非常に厳しい状況となっております。他方、マーケット的には地域医療改革、海外市場など新たなビジネスチャンスが広がり、この新しい“旬”にいち早く対応していくことで大きなチャンスを掴み取る事が可能な状況となってきております。

こうした中、当社グループはこのチャンスを掴み取るために、売上高1兆円の企業集団に向け、人材育成を含めた基礎づくりを進めております。具体的には、理念教育と現場でのOJTを組み合わせ誠実で活力に満ちた人材を育ててまいります。そして、これらをベースに既存の業務プロセスを再点検し、無駄がなく、お客さまの要望に的確に応えられる事業体制を再構築してまいります。他方、新たな“旬”への挑戦には当社グループの持つ優れたノウハウ、実戦経験を武器にアライアンスなどのネットワークを活用し、プレゼンスの拡充を目指してまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

基盤づくりと次なる“旬”

業績について

期初予想を概ね達成

当期の状況といたしましては、主力事業でありますトータルパックプロデュース(TPP)事業が順調に案件数を伸ばしたことに加え、メディカルサプライ(MSP)事業のSPD分野で新規受託分の稼働が軌道に乗りはじめたことや前期M&Aを実施した調剤薬局の業績が貢献し、売上高は前年同期比15.5%増の2,591億円を達成いたしました。また、利益面につきましても、介護施設における稼働状況が改善途上にありますが、TPP事業の増益などにより経常利益が前年同期比8.6%増の147億円となり、期初予想を概ね達成いたしました。

業績結果

(単位：百万円)

	2013/3	2014/3	増減率	期初予想 (2013年5月7日 発表)
売上高	224,363	259,189	15.5%	242,500
営業利益	12,544	13,857	10.5%	13,500
経常利益	13,589	14,754	8.6%	14,500
当期純利益	8,589	8,523	0.8%	8,600

売上高1兆円の企業集団に向けた取り組み

グループ全体の事業基盤を強化

今後の継続した成長のため、グループ事業基盤の強化に注力してまいります。このために当社グループでは、人材の育成に努め、人材の有効活用を進める「人材開発室」を昨年11月に新設いたしました。また、競争環境が激化している中で、持続的成長の源泉となる収益確保に向けて各事業の業務プロセスを見直し、より効率的な業務体制の構築を行ってまいります。

さらに、1兆円の売上高の達成には、グループ企業間のシナジー効果の発揮が不可欠です。こちらにつきましては、2012年に当社へ大部分のグループ会社を直接連結するグループ再編を行っており、個々の会社のスケールアップと連携強化を進めております。

当社グループは、「人材」「プロセス」「会社」それぞれの段階でグループ事業基盤を強化・拡充し、次なる成長の土台を固めてまいります。

グループ基盤の強化



次なる“旬”に向けた取り組みを加速

現在、当社グループが属する医療・介護業界は大きなうねりの中にあります。次々と市場・事業が生まれる中で継続した成長を続けるには、新たな“旬”にいち早く対応していく必要があります。

新生MEJ(メディカルエクセレンスジャパン)の発足に伴い日本医療の海外展開が本格化する中、当社グループにおいても順次海外案件が動き出しております。また、近年活発に行われている「医工連携」においては、当社グループ独自のスキームを構築し、既に数件のプロジェクトが承認されております。さらに、昨年発表したヘルスケアREITにおいても、立ち上げに向けた体制整備が進んでおります。また、介護保険制度で標榜されている「施設から在宅」の動きに対しましても、当社グループの拠点を利用した新たなビジネスの構築などを検討しております。

このように当社グループは、足腰の強い事業基盤をつくり上げるとともに、変化する“旬”にいち早く対応し、持続的な成長を目指してまいります。

新たな取り組み



海外展開を加速

経産省、MEJの協力のもと、ASEAN地域を中心に具体的な事業展開を開始します。

当社グループでは、約3年前から特にASEAN地域を中心に海外展開の基盤づくりを進めてまいりました。

こうした中、現日本政府では、成長戦略の目玉のひとつとして、「病院丸ごと輸出」を合言葉に、ソフトとハードによるパッケージ型の日本医療輸出を目指しております。そのような流れの中で、当社グループでは新生MEJへの参画などを通じ、グループのヘルスケアトータルエンジニアリング力を活かした海外展開を加速しております。

バングラデシュでは、経産省委託の調査事業を通じた現地病院との提携などにより、現地医療の実態を見つめてまいりました。現

在、より具体的な形での病院建設・病院運営サポートを目指して事業を進行しております。

ミャンマーでは、MEJの促進事業として「ミャンマー日本式医療トレーニング施設整備運営プロジェクト」を受託し、透析を中心に人材教育も含め病院機能を整備してまいります。

他にも、イラクやモンゴルといった海外での実績が次第に積み上がってきております。今後さらに世界各地の展示会に積極的に参加するなど、官民一体となって日本の先進医療を国際展開してまいります。

◎ 主な海外案件

バングラデシュ ダッカ
病院運営サポート

▼ 当社グループの製品も導入頂いております

ミャンマー ヤンゴン
日本式医療拠点整備

「医工連携」の取り組み開始

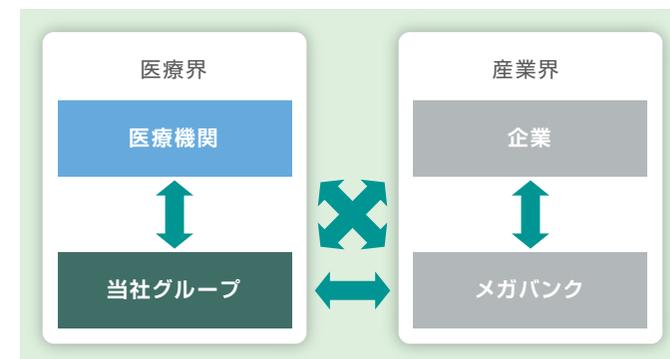
一歩進んだ将来の“旬”を創出します。

医療現場が抱える課題や不満をニーズと捉え、当社グループがそれらを発掘し産業界へ可視化(翻訳)することで商品開発につながるという、新たな「医工連携」のスキームを開始いたしました。

「医工連携」とは、医療界と産業界が協力して医療に役立つ“モノ”や“コト”を共創・提供することを指しますが、双方の業界は専門性が高く、意思疎通は困難で多くの障壁があります。そこで、双方に通じる当社グループがキーマンとして橋渡し役になり、医療現場のニーズを適切に可視化(翻訳)し、金融機関のネットワークなどを介して課題解決が可能なメーカーをマッチングすることで、医療現場の環境改善を図ってまいります。さらに、海外へも視野を広げて本スキームを活用することで、新興国などのニーズを充足する商品開発にも応用し、海外の医療の振興・発展に貢献したいと考えております。

当社グループでは、これらの産業育成を通じ、将来の“旬”の創出に取り組んでまいります。

◎ 連携のイメージ



重粒子線がん治療施設プロジェクトに参画

日本が世界に誇れる先端医療に、 当社グループのノウハウを活かします。

この度、日本が世界に誇る先端医療、重粒子線がん治療施設プロジェクトに対し、当社グループが構成事業者として参画を決定いたしました。本プロジェクトは、大阪府立成人病センターの建て替えに伴い、より高度ながん治療を提供するため、大阪府立病院機構が中心となって計画されたもので、2017年度の開業を目指しております。

重粒子線治療とは、重粒子(炭素イオン)線を光速の70%まで加速させて照射し、体の深部にあるがんを的確に攻撃する治療法です。日本が世界に誇れる先端領域として、現在日本の多くのメーカーが世界展開を図っております。

しかしながら、先端医療機器といえども、それを活かす人材がいなければ十分に機能することはできません。当社グループでは、そうした人材育成も含め、施工から運用までをグループの豊富なノウハウを活かし、トータルでサポートすることで、本プロジェクトを将来の新しい事業展開への入り口として進行してまいります。

◎ 重粒子線がん治療施設イメージ図



施設概要

敷地面積	約5,400㎡
階層	地上3階／地下なし
高さ	29.9m
治療室	3室
治療患者数	800人／年

医療介護複合ビル「シップ仙台ビル」が竣工

「至誠惻怛」の心で、 東北の復興に全力で挑みます。

当社グループが大型医療複合施設として、また東北地域の事業拠点として位置付けております、「シップ仙台ビル」が、5月15日に竣工を迎えました。

当社グループは、東北地方においても病院のリモデルや調剤薬局運営など、数多くの事業を手がけてまいりました。そのような経緯もあり、東北地方に対し、「役に立ちたい」との強い思いから当プロジェクトはスタートいたしました。工事は復興活動に伴う人材不足などの懸念事項もありましたが、医療を通じた皆さまの健康や雇用創出のため、全社が一丸となった結果、この度の竣工にいたっております。

当社グループでは、心身ともに健康で暮らせる地域医療のサポートに、これからも真摯に取り組んでまいります。

◎ シップ仙台ビル外観



プロジェクトの概要

2011年4月27日	土地取得
2014年5月15日	竣工
2014年7月1日	オープン

◎ 風力発電照明



施設概要

- 有料老人ホーム(定員300名)
- 医療モール
- 楽リハ(デイサービス)
- 調剤薬局
- 訪問介護・訪問看護事業所
- ケアプランセンター

メーカー系3社が新製品の販売や新しい取り組みを加速

製品・プランニング・エンジニアリングの 3つの視点から、 新しい医療をご提案します。

メーカー系の3社が、新製品の販売や新しい取り組みを加速しております。医療設備分野では、セントラルユニが「Mashup studio」をリニューアルオープンいたしました。ITをこれまで以上に活用した提案により、従来の受注に向けた活動に加え、数年単位で進行する病院建設プロジェクトの全工程にわたり、顧客とのコミュニケーションを深めサポートしていける体制を構築いたしました。また、山田医療照明では、製品だけでなく医療に最適な光を体験して頂ける実験室「MEDICAL LIGHTING LAB.」がオープンいたしました。

福祉・介護設備分野では、酒井医療から、トレーニングマシンの「プレクサーシリーズ」が販売開始となっております。タッチパネルを搭載する当マシンでは、利用者の基本情報やトレーニング情報が記録され、適切なフィードバックが可能となっております。

当社グループでは、これらの取り組みを通じ、製品・プランニング・エンジニアリングを一体とした、新しい病院建設のプロジェクトマネジメントをご提案してまいります。

◎ Mashup studioで提案する
新しい医療ガス供給システム「uniline」



◎ プレクサーシリーズ



連結財務諸表

○ 連結貸借対照表

	当 期 2014年3月31日現在	前 期 2013年3月31日現在	前期比 増減額
【資産の部】			
流動資産	112,959	91,551	21,407
現金及び預金	22,278	18,850	3,427
受取手形及び売掛金	70,955	54,113	16,841
電子記録債権	830	—	830
商品及び製品	7,805	7,649	156
仕掛品	1,575	2,031	△ 455
原材料及び貯蔵品	858	705	152
繰延税金資産	1,527	1,526	0
短期貸付金	1,835	2,890	△ 1,054
その他	5,415	3,882	1,532
貸倒引当金	△ 122	△ 99	△ 23
固定資産	60,433	52,837	7,596
有形固定資産	33,176	27,839	5,336
建物及び構築物	9,521	8,962	559
機械装置及び運搬具	252	196	56
土地	8,455	8,230	225
貸与資産	38	44	△ 6
賃貸不動産	10,922	8,709	2,212
建設仮勘定	2,439	613	1,825
その他	1,545	1,082	463
無形固定資産	11,081	11,214	△ 132
のれん	10,385	10,622	△ 237
その他	696	592	104
投資その他の資産	16,175	13,783	2,392
投資有価証券	3,775	2,666	1,109
長期貸付金	7,718	6,277	1,441
繰延税金資産	1,246	1,171	75
破産更生債権等	117	208	△ 91
差入保証金	4,357	4,727	△ 369
その他	867	711	156
貸倒引当金	△ 1,908	△ 1,979	71
資産合計	173,393	144,389	29,003

(単位：百万円)

	当 期 2014年3月31日現在	前 期 2013年3月31日現在	前期比 増減額
【負債の部】			
流動負債	97,884	73,405	24,478
支払手形及び買掛金	72,484	53,493	18,991
電子記録債務	1,154	—	1,154
短期借入金	6,687	3,281	3,406
1年内返済予定の長期借入金	3,877	3,526	351
未払法人税等	3,927	3,176	751
繰延税金負債	11	74	△ 62
賞与引当金	1,555	1,481	73
工事損失引当金	11	—	11
その他	8,173	8,370	△ 197
固定負債	27,887	28,436	△ 549
社債	2,650	4,034	△ 1,384
長期借入金	20,245	20,063	181
退職給付引当金	—	2,006	△ 2,006
退職給付に係る負債	2,038	—	2,038
繰延税金負債	480	319	161
資産除去債務	245	207	37
その他	2,227	1,806	421
負債合計	125,771	101,842	23,929
【純資産の部】			
株主資本	46,192	41,547	4,644
資本金	5,855	5,691	163
資本剰余金	10,224	10,061	163
利益剰余金	32,461	25,795	6,665
自己株式	△ 2,349	△ 1	△ 2,348
その他の包括利益累計額	981	630	351
その他有価証券評価差額金	828	567	261
為替換算調整勘定	126	63	63
退職給付に係る調整累計額	26	—	26
少数株主持分	447	369	78
純資産合計	47,621	42,547	5,074
負債純資産合計	173,393	144,389	29,003

○ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当 期 2013年4月1日～ 2014年3月31日	前 期 2012年4月1日～ 2013年3月31日	前期比 増減額
売上高	259,189	224,363	34,826
売上原価	225,632	193,402	32,229
売上総利益	33,557	30,960	2,596
販売費及び一般管理費	19,699	18,416	1,282
営業利益	13,857	12,544	1,313
営業外収益	1,347	1,496	△ 149
営業外費用	451	450	0
経常利益	14,754	13,589	1,164
特別利益	4	111	△ 107
特別損失	191	272	△ 81
税金等調整前当期純利益	14,567	13,429	1,138
法人税、住民税及び事業税	6,101	4,956	1,145
法人税等調整額	△ 107	△ 199	91
少数株主損益調整前当期純利益	8,573	8,672	△ 98
少数株主利益	50	82	△ 32
当期純利益	8,523	8,589	△ 66

○ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当 期 2013年4月1日～ 2014年3月31日	前 期 2012年4月1日～ 2013年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,796	11,118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,293	△ 8,456
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,166	730
現金及び現金同等物に係る換算差額	105	26
現金及び現金同等物の増減額	3,442	3,419
現金及び現金同等物の期首残高	17,790	14,371
現金及び現金同等物の期末残高	21,233	17,790

業績の概要

○ 主な経営指標の推移 [日本基準] (連結)

(単位：百万円)

	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3 (予想)
売上高	140,009	162,432	188,839	224,363	259,189	280,000
営業利益	5,700	7,856	10,132	12,544	13,857	14,600
経常利益	6,142	8,850	11,251	13,589	14,754	15,000
当期純利益	3,154	5,931	7,026	8,589	8,523	8,800
総資産	114,619	116,822	129,989	144,389	173,393	—
純資産	24,509	30,035	35,256	42,547	47,621	—

○ セグメント情報 (2013年4月1日～2014年3月31日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、大型プロジェクト案件の完成件数が期末に集中し、追加備品の受注等もあり順調に仕上がることも、海外案件に向けた動きも進捗いたしました。加えて、メーカー系各社において手術室・ICU等のユニットや医療ガスバイピング、介護用浴槽やリハビリ機器等の販売も順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は96,059百万円(前年同期比20.6%増)、営業利益は9,369百万円(同2.8%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、SPD施設の新規受託の獲得や在庫管理の効率化の実施、専門領域の診療材料販売における新規受注の拡大等により堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は121,196百万円(前年同期比13.5%増)、営業利益は2,156百万円(同20.7%増)となりました。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、一部有料老人ホームにおいて、運営の立て直し中であること、介護・リハビリ施設の新規開設に伴う先行費用が発生し、黒字化への進捗が遅れていること等から目標値に対し未達となりました。患者向け食事提供サービスにおきましては、食材の価格上昇に伴う発注献立の見直しを行うとともに、営業力の強化により東日本地区を中心に顧客を拡大いたしました。

以上の結果、売上高は18,872百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は577百万円(同39.5%増)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、昨年度に実施したM&Aや新規店舗の出店による店舗数の増加や在宅調剤の拡大等により売上高が増加するとともに、経営コストの削減や店舗運営の効率化等により営業利益につきましても増加いたしました。

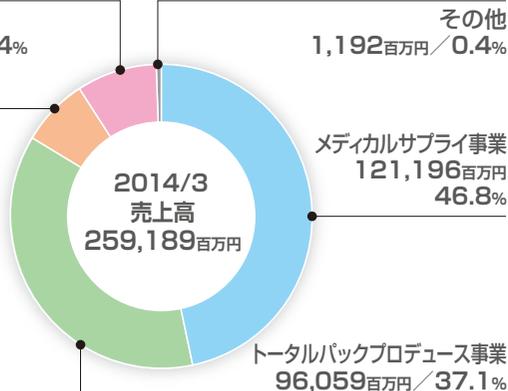
以上の結果、売上高は21,867百万円(前年同期比19.9%増)、営業利益は1,972百万円(同23.5%増)となりました。

調剤薬局事業

21,867百万円 / 8.4%

ヘルスケア事業
18,872百万円
7.3%

セグメント別
売上高
構成比



その他

その他におきましては、動物病院事業は計画通り進捗した一方、理化学機器の販売事業については低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,192百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益は127百万円(同17.6%減)となりました。

株式関連情報

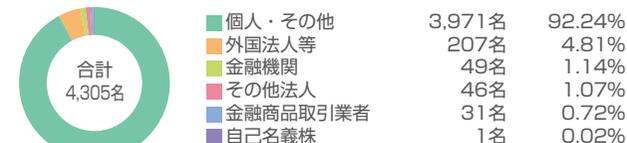
(2014年3月31日現在)

○ 株式の状況

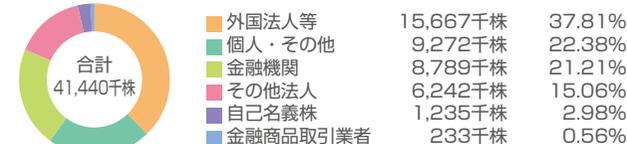
発行可能株式総数	64,000千株
発行済株式総数	41,440千株
株主数	4,305名

○ 株式分布状況

株式分布状況 (株主数別)



株式分布状況 (株式数別)



※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

○ 大株主の状況

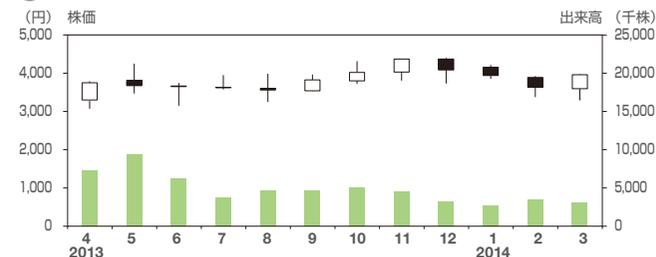
[保有株式数] [持株比率]

株主名	保有株式数	持株比率 (%)
株式会社コックロー	3,988千株	9.92%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	2,190千株	5.44%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,976千株	4.91%
春日興産同業会社	1,400千株	3.48%
ザ チェース マンハッタン バンク 385036	1,296千株	3.22%
古川國久	1,236千株	3.07%
古川幸一郎	1,230千株	3.05%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,205千株	2.99%
ノーザントラストカンパニー エイブイエアシーリフィデリティファンズ	1,199千株	2.98%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,172千株	2.91%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

※ 当社は、自己株式(1,235,515株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

○ 株価・出来高の推移



会社情報

○ 会社概要 (2014年3月31日現在)

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
 設立 1992年8月
 代表取締役社長 古川 國久
 資本金 58億5,552万円
 決算月 3月
 従業員数 連結3,628名(正社員)
 本社所在地 〒565-0853
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130
 FAX : 06-6369-3191

○ 役員 (2014年6月27日現在)

代表取締役会長	古川 國久
代表取締役社長	小川 宏隆
代表取締役副社長	大橋 太一
専務取締役	沖本 浩一
専務取締役	増林 宏行
専務取締役	小田 順博
専務取締役	山本 博
常務取締役	横山 裕司
常務取締役	細川 賢治
取締役(社外)	和田 義昭
常勤監査役(社外)	岩元 廣志
社外監査役	中尾 秀光
社外監査役	大山 博康
社外監査役	大内 陽一

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで…

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp/>

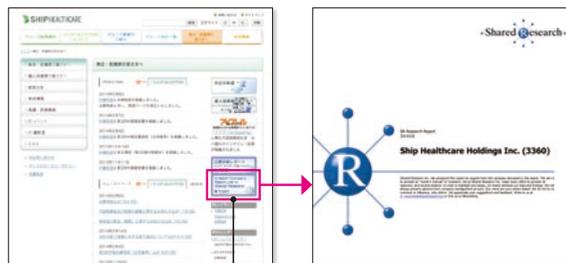


株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
 期末配当金受領 3月31日
 株主確定日
 定時株主総会 毎年6月中
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
 特別口座の 三井住友信託銀行株式会社 (旧 クリーンホスピタルサプライ (株) の株主様)
 口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 (旧 (株) セトラルユニの株主様)
 同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、
 その他のやむを得ない事由が生じたときは、
 日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行並びにみずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



IR Info ▶ In-depth Company Report Link to Shared Research

For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc.
 Please check
[http://www.sharedresearch.jp/en/Ship_Healthcare_Holdings\(3360\)](http://www.sharedresearch.jp/en/Ship_Healthcare_Holdings(3360))
 to view the report.

アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまからいただいたご意見を誠実に受け止め、今後の経営及びIR活動に活かしてまいりたいと考えております。皆さまからの貴重なご意見をお待ちしております。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

Q1 当社株式をいつ頃ご購入されましたか?

- ① 1ヶ月以内
- ② 2～5ヶ月前
- ③ 6ヶ月以上前
- ④ 1年以上前
- ⑤ 株式上場時(2005年2月)

Q2 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。

- ① 中長期的に保有する
- ② 短期で考えている
- ③ 買い増しする
- ④ 投資収益に応じて売却する
- ⑤ 未定

Q3 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか? (上位3点をお選びください)

- ① 規模の拡大
- ② ビジネスモデルの強化
- ③ 経営の効率化
- ④ 収益性
- ⑤ 安定性
- ⑥ 株主政策の強化
- ⑦ その他()

Q4 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われますか?

- ① 株主通信
- ② ホームページ
- ③ 株主総会
- ④ 個人投資家向け説明会の開催
- ⑤ その他()

Q5 今回の株主通信でご興味を持たれた内容は何ですか?

- ① マネジメントメッセージ
- ② トピックス
- ③ 連結財務諸表
- ④ 業績の概要
- ⑤ 株式関連情報及び会社情報

Q6 今回の株主通信をどのようにご評価されますか?

- ① 大変満足している
- ② ある程度満足している
- ③ 普通
- ④ あまり満足していない
- ⑤ 不満である

Q7 その他、ご意見・要望等をご自由に記入ください。